

土・ひと・くらしをつなぐ、香川の交流誌

きらり

6

2021 JUNE

よくわかる

【あぐり&らいふスペシャル】

知って取り組み、みんなで達成！
JA香川県のSDGs

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

JA香川県は
自己改革に
取り組んでいます！



農業者の所得増大

農業生産の拡大

地域の活性化

「やりたいことを、一歩ずつ。」
チャレンジ精神で
新しい農業を！



よく
わかる

知って取り組み、
みんなで達成！

あぐり&らいふSPECIAL

エス ディー ジーズ

JA香川県のSDGs

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

最近、さまざまなメディアで目にするようになった「SDGs」。
「実際に私たちの生活とはどんな関係があるの？」
「何をすればいいのか、よくわからない」という方もいるのでは。
実は、当JAが取り組んでいる事業や活動の中には、
「これってSDGsそのもの!」というものがたくさんあります。
身近なSDGsとして、ぜひ知っていただきたい取り組みをご紹介します。



Top Message

JA香川県
代表理事 理事長
木内 秀一



SDGsとは、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標」の略称です。SDGsが目指すのは、地球環境を守りながらすべての人が尊厳をもって生きられる社会と豊かな暮らしを営むことができる経済を実現することです。

誰ひとり取り残さず、人と地域を大切に、みんなで協力して課題を解決していくという「協同組合」の原則と一致しており、組合員や地域の皆さまと一緒にSDGsの実現に取り組んでいきます。

SDGsって何ですか？



2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた「持続可能な開発目標」です。

先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の3つの側面のバランスがとれた社会を目指す2030年までの世界共通の取組目標です。17のゴール・169のターゲット・244の指標から構成され、「誰一人取り残さない」を基本理念としています。

持続可能な 開発 目標

Sustainable Development Goals

サステイナブル ディベロップメント ゴールズ



目標1【貧困】

あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる



目標3【保健】

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



目標5【ジェンダー】

ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女児のエンパワーメントを行う



目標7【エネルギー】

すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



目標9【インフラ、産業化、イノベーション】

強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進およびイノベーションの推進を図る



目標11【持続可能な都市】

包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市および人間居住を実現する



目標13【気候変動】

気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる



目標15【陸上資源】

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



目標17【実施手段】

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する



目標2【飢餓】

飢餓を終わらせ、食料安全保障および栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する



目標4【教育】

すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する



目標6【水・衛生】

すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



目標8【経済成長と雇用】

包摂的かつ持続可能な経済成長およびすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する



目標10【不平等】

国内及び各国家間の不平等を是正する



目標12【持続可能な消費と生産】

持続可能な消費生産形態を確保する



目標14【海洋資源】

持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



目標16【平和】

持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

JA香川県はすでに、 SDGsを 実践している?!

「17の目標」が並んでいるのを見ると、「SDGsって、なんだか難しそう…」と感じる方もいるかもしれませんが、ですが「一つ見ていくと、「協同組合」の目指すものとても考え方が似ているのです。

協同組合の基本理念は「人は万人のために、万人は一人のために」。これは、SDGsの基本理念である「誰一人取り残さない」と非常に近い関係にあります。

農業協同組合であるJA香川県の経営理念もまさにこの理念に基づき、地域の農業振興を通して組合員の生活や環境を守ることや、消費者に安全安心な食を提供すること、地域密着型の総合事業を展開していきます。

当JAが中期経営計画で取り組む農業振興・地域活性化の各目標もSDGsと親和性が高く、基本的価値を共有するものです。また、生活協同組合など県内のほかの協同組合との連携を深めることも、より広い視点で地域の農・食・くらしを支えることとなっています。今後はゼロエミッションを考慮した目標を設定し、着実に実践していきます。

※ゼロエミッションとは…人間の活動から発生する排出物を限りなくゼロにすることを指しながら最大限の資源活用を図り、持続可能な経済活動や生産活動を展開する理念と方法のこと

【重点目標】

1

地域「農業」を守り、
将来にわたって
持続可能な農業を
目指します。



- 営農指導強化
- 農地の保全
- スマート農業の促進
- 販売力の強化
- 農業者の所得増大と農業生産の拡大に関すること

2

地域の「食」を守り、
環境にも人にも
安全・安心な
農畜産物を供給します。



- 環境に配慮した農薬、肥料の利用
- 気候変動に対応できる農業生産
- 農産物直売所による地産地消の促進
- オリジナル商品の開発
- 食農教育

3

総合事業の
強みを発揮し、
地域の「くらし」を
守ります。



- 移動購買車
- JAネットバンクの促進
- 支店協同活動
- 協同組合、地方公共団体等との連携

SDGsの目標と関連するJA香川県の取り組みは多岐にわたります。
次ページからは、その中でも最近の取り組みを中心にピックアップしてご紹介していきます。

地域「農業」を守り、将来にわたって 継続可能な農業を目指します。



アグリワーク 働きがいのある仕事を



「アグリワーク」は、労働力がほしい求人者(生産者)と農業に従事したい求職者(働き手)との雇用斡旋・補助などを目的として、当JAが運営する無料職業紹介事業です。

求人側・求職側のさまざまなニーズに応え、お互いが最適なマッチングをできるように努めています。採用された方々の満足度・定着率も高く、双方に役立っています。



スマート農業 ICTなど先進技術の普及促進



情報通信技術 (ICT) などを活用して生産者の負担軽減や所得向上を図る「スマート農業」の普及促進に取り組んでいます。

平成29年度から農作業支援のひとつとして行っているのが「ドローンによる防除」。水稻・麦の農薬散布を支援しています。これまで主流だった無人ヘリコプターに比べ小型で廉価なドローンの活用は労働負担の軽減や作業性の向上、コスト削減が可能。特に、中山間地の棚田などで作業を行えるため、耕作放棄地などの減少につながり、農地保全にも貢献しています。



営農指導 生産者の 所得増大・生産拡大



県内7か所の営農センターに所属する当JAの営農指導員は、生産者一人一人のほ場を巡回し、適切な栽培管理の指導にあたっています。また、品目ごとに組織された生産部会の事務局として研修会を開催したり、市場など販売先との交渉や他産地視察などの運営をサポートしています。県の農業改良普及センターや農業試験場などとも密に連携し、新品種や奨励品種、他産地や市場動向などの情報提供も行っています。規模拡大を目指す生産者から兼業農家の生産者まで、規模の大小関係なく生産者一人一人に合った農業経営を提案し、所得向上をサポートしています。

また、新規就農を目指す人に対しては、土地や設備の確保から各種助成の活用など資金面、技術の習得まで総合的に支援します。



地域の「食」を守り、 環境にも人にも安全・安心な 農畜産物を供給します。

栽培履歴(トレーサビリティ) 食の安全確保、食の情報開示

12 つくる責任
つかう責任

当JAに農産物を出荷する生産者には、栽培履歴書の提出が義務付けられ、市場や農産物直売所へ出荷された農産物は全て農薬の基準を満たしています。

栽培履歴書を記入することで消費者や生産者の「食の安全と安心」を守っています。



農産物直売所 地消地産の促進

12 つくる責任
つかう責任

ファーマーズマーケットを2店舗(「讚さん広場 飯山店、同 滝宮店」と、県内全域に26店舗の農産物直売所で多様な出荷者が地域住民の皆さんに安全で新鮮な食材を提供しています。

生産者の多彩な農業経営、所得向上を応援するとともに、地消地産につながっています。



食農教育 食や農への理解を促進

4 質の高い教育を
みんなに

12 つくる責任
つかう責任

地元生産者の協力のもと、地域の保育所・幼稚園や小中学校などへの出前授業や農業体験など、食農教育の場を提供しています。農業体験では、苗の植え付けや収穫などを体験し、いつも食べている野菜や果物がどのように作られているか学ぶことができます。



活動を通じて、将来を担う地元の子どもたちに食や農の大切さを伝えていきます。



総合事業の強味を発揮し、
地域の「くらし」を守ります。



支店協同活動 地域の皆さんとともに 地域社会の活性化に取り組む



当JAの全支店・出張所で行なっている「支店協同活動」。中でも、地域の安全・安心を守る交通安全などの活動は多くの支店が熱心に取り組んでいます。地域住民とともにいった交通安全の啓発活動や地域のボランティア団体と連携した“青パト”での防犯パトロールなど、他の組織とも連携して実施しています。

よりよい地域コミュニティで誰もが安心して暮らせるまちづくりに積極的に参加しています。

「マッチングDAY」への協力 子どもたちの健康な 食生活を支える



社会福祉法人香川県社会福祉協議会と連携して、県内でひとり親家庭の支援を行うNPO「ひとり親パートナーズ」の取り組みに協力し、県内農産物などを提供しています。もともと計画していた「子ども食堂」への食材提供活動がコロナ禍で困難になっていることから、今、JAだからこそできる支援を柔軟に行っていくこととし、毎月1回、新鮮な野菜や果物などを配布会場へ届けています。

今後も、さまざまな団体との連携を深め、地域社会のさまざまなニーズに対応した支援に取り組んでいきます。



コープかがわとの 包括連携協定 地域の拠り所づくり



当組合は平成29年に生活協同組合コープかがわと包括連携協定を締結し、協同組合組織としての特性を生かした豊かで暮らしやすい地域社会づくりに取り組んでいます。これまでに「JA香川県三木町支店」の敷地内に「ココステーションみき」、「讃さん広場 飯山店」の敷地内に「ここね飯山」がオープンし、「コープ太田」の店舗内に「JA産直市コープ太田店」をオープン。お互いの得意分野を生かした店舗づくりを行っています。

連携店舗がそれぞれの組合員の交流できる場となることで、生産者と消費者の拠り所となり、賑わいの拠点となることを目指しています。



JA香川県は、これからも積極的に、着実にSDGsへの取り組みを続けていきます。

「きらり」誌上や各地区「エリア通信」では、SDGsに関連する取り組みにアイコンをつけて紹介していきます。



オニオンと豚肉のひらひらサラダ

タマネギ、豚肉、キュウリを、ひらひらの薄切りにした食べやすく栄養バランスのよいスタミナサラダです。

野菜ソムリエプロのおすすめ



新・さめき野菜料理

旬の香川県産野菜に、新しい感覚を取り入れて「おうちごはん」を提案します。

6月の
おすすめ

タマネギ



調理時間
15分

材料[2人分]

- タマネギ ½個
 - キュウリ 1本
 - ミニトマト 3コ
 - 豚肉(しゃぶしゃぶ用) 150g
 - 塩 少々
 - かつおぶし 少量
- <ドレッシング>
- 梅干し 1個
(※シソ入りの梅干しならシソを加えても)
 - オリーブオイル 大さじ1
 - 酢 大さじ1
 - めんつゆ 小さじ1
(※お好みで砂糖かハチミツを少量加えても)

作り方

- ①タマネギをスライサーで横に薄くスライスし、たっぷりの水にさらし、しっかり水気を切る。
- ②キュウリは縦に長くスライサーでスライスする。ミニトマトは2等分する。
- ③鍋にたっぷりのお湯を沸かして塩を入れ、豚肉をゆでる。ざるにあげてしっかり水気を切る。
- ④種を取った梅干しを、ペースト状になるまで包丁できざみ、ドレッシングの全ての材料を混ぜ合わせる。
- ⑤キュウリをふんわり二つ折りにして器に盛り、豚肉、タマネギをのせ、ミニトマトを飾る。
- ⑥⑤に④をかけ、かつおぶしを散らしてどうぞ。



万能食材のタマネギは
多彩な調理法で味わいましょう！



野菜ソムリエプロ

川村 章子 先生

タマネギは、香川県で昔から栽培されており、柔らかさと香りの良さが評価されています。6月中旬頃に収穫する晩生品種が多いので、今が食べ時です。今回は生のままスライスして、初夏らしい「しゃぶしゃぶサラダ」にしました。

タマネギは、繊維に対して垂直に切ると、水にさらした時に辛み成分が出やすくくなります。小さなお子さまが食べる場合などは、さっと湯通しするとさらに辛みがなくなりやすいです。元々辛みの少ない新タマネギもオススメ。見かけたらぜひ使ってみてください。

一方で、加熱すると途端に甘さとおろみが生まれ、料理にコクが加わります。調理法を使い分けて、年中取り入れたいですね。

プロフィール
野菜ソムリエプロ。野菜でキレイになる料理教室be-vege(ビーベジ)主宰。レシピ提案、商品開発、講演活動、食育事業や災害時の食の提案も行う。

きらり 2021 JUNE No. 243 6



ホームページ
<https://www.kw-ja.or.jp/>



JAグループ

耕そう、大地と地域のmiraい。



2021年6月号(毎月1回発行)

発行:香川県農業協同組合 〒760-0023 香川県高松市寿町一丁目3番6号 編集:企画管理部企画広報課 TEL 087-825-1233

印刷:株式会社 アイコー印刷

